

広告に見る英語表現

愛知県立新城東高等学校本郷校舎
青山 浩 幸

1. はじめに

今回、米国理解教育プロジェクトに参加する機会をいただき、生のアメリカを体験し、その大きさを肌で感じる事ができた。しかし、英語の教材研究として何を取り上げたらよいものかと研修前はもちろん、旅行中も頭を悩ませた。英語を教えるものにとって、旅程中の見るもの、聞くもの、体験するもの全てが教材である。悩んだ末、その中から、特に生徒たちが興味を持って取り組むことができそうな広告や掲示に見られる表現を取り上げた。広告という媒体は、商品やサービスの内容を短時間に簡潔に表すために工夫を凝らしてあったり、ユーモアあふれる表現があったりと生徒の興味関心を引くのに格好の教材となりうる。また、広告を読み込んでいくことで、その背景にあるアメリカ社会や文化、そして英語の持つおもしろさなどにふれさせたいと考えた。

2. 街で見る広告・掲示の表現

(1) Wire money

第一年次の報告書の中で、Swipe という単語について「カードを読みとり機に通す」という新しい意味が付加されている事例が報告されていた。今回の旅行で、実際に "swipe" を目にしてやろうと意気込んでいったが、街の至る所に ATM が屋外にあり、つぶれそうな店の軒先にも Swipe の文字が躍っていて少々拍子抜けするほどだった。アメリカのカード社会ぶりを目の当たりにした経験だった。さてこの swipe のように、既知の単語でも新しい用法で使われている事例を見かけることがあった。

街角で Wire money という表現を幾度か見かけた。wire にはもちろん「電線、針金、電報」、また動詞では「電報を打つ、針金で結ぶ、警報機がついている」という意味があるが money を wire するとは？と少し考えてしまう。実際には「お金を送金する」という意味で使われている。持参した電子辞書に収録されている

OXFORD ADVANCED LEARNER'S DICTIONARY で調べてみると wire(v) の 5 番目の用法として

~ sth(to sb) / ~ sb sth : to send money from one bank to another using an electronic system

ex) The bank wired the money to her. / The bank wired her the money.

とある。現在のカード社会で、お金を送金するのに為替や現金書留を使うことはあまりない。日本での生活でも、普段の振り込みなどでも、ATM で "WIRE" することがほとんどではないだろうか。こうしたサービスが新しく開発されるとともに新しい言葉や新しい用法が生まれてくる。英語を教える教員にとって、教材の新鮮さがいかに大事かを考えさせられる体験だった。これまで授業では「お金を送る」は send や remit を使うんだよ」と教